



結成1年半での快挙!

『生き生きクラブ稲穂会』全国老人クラブ大会で優勝



平成29年度第46回全国老人クラブ大会「演じる活動部門」において、生き生きクラブの発表「おらが町横芝光」の創作舞踊劇が金賞（優勝）を受賞しました。

合併10年を迎えた横芝光町の、風土の違いによる日常生活での様々な違いと観光資源を舞踊劇で演じました。昨年山武地区大会で優勝し、県大会出場、そして今年度、全国でわずか6チームしか演じることのできない全国大会に選ばれ優勝した事は、結成1年半での快挙です。

「話し合い・助け合い・想い合い」手と手を取り合って生き生きと楽しい毎日を過ごす事を目指して今後も活動して行こうと思います。

平成29年度 福祉のまちづくり 標語・作文・ポスター

最優秀作品と優秀作品紹介!

「ふれあいと支え合いの精神に満ちた心豊かな福祉のまちづくり」を進めるため、福祉教育の一環として町内小・中学校児童・生徒から標語・作文・ポスターを募集したところ、655点の作品が寄せられました。応募いただいた作品の中から、各部門別に最優秀賞・優秀賞の入選作品が決定しました。

標語の部 最優秀賞

気づいたら 声をかけよう 「大丈夫」

越川 天心 (日吉小学校4年)

あいさつで つながるひとと いえといえ

椎名梨香子 (上堺小学校1年)

標語の部 優秀賞

越川 恒輝 (光中学校3年)

櫻井 柊 (大総小学校6年)

伊藤 誠悟 (横芝小学校5年)

土屋勇太郎 (大総小学校2年)

作文の部 最優秀賞

大木美澄 (光中学校1年)

障害と共に 生きていくために

私達がくらす日本は、これまでたくさん
の成長を上げてきました。人々の生活
は豊かになりました、多くの人にとって
便利社会になりました。しかし、全ての
人が同じように、不便のない生活をして
いるとは言えないでしょうか。身体障
害者の方々は、「銀行のATMの高さが
高すぎる」「聞こえないと言っても口
で話さないと聞かれない」といって
困った経験など、様々な苦労をして
います。身体に障害のある人が自立し
、社会参加できるように、様々な団体
や国でも活動を行っています。

千葉県福祉活動についてインターネット
で調べたところ、「障害のある人も
ない人も共にくらしやすい千葉県づく
り条例」が定められていることを知り
ました。これは、障害に対する差別を
なくすための取組で、教育を受けたり
、公共施設を利用したりする権利があ
るということが分かりました。しかし
、このような条例があっても、県民の
理解と協力がなければ成り立たないと
私は考えました。様々な立場の人が
、障害や条例について知り、助け合
い、共に生きてゆこうと思えば、差別
をなくすことはできないと思います。
一人一人が障害に関心を持ち、募
金に参加したり、困っている人がいた
ら助けたりと、ささいなことでも行
動を変え、社会は確実に変わって
いくのではないかと思います。

そして、八月二十二日に、町で行な
われた「福祉体験学習会」に行き、補
助犬についても学びました。日本介
助犬協会の方と、介助犬のヌーンが
来てくださり、二時間の講演でたく
さんの発見がありました。二〇二二年
五月に「身体障害者補助犬法」が
できましたが、まだ知ら

ない人が多いのが現状です。この法律は、
身体障害者の自立と社会参加の促進に寄
与することを目的とし、認定を受けた盲
導犬、介助犬、聴導犬の三種類が活躍し
ているそうです。私が学習会に行くと学
んだことで、特に印象に残っているのは
介助犬です。現在、介助犬を必要として
いる人は、日本国内で一万五千人以上も
いるそうです。しかし現状では、介助犬
の普及はまだまだそれに及ばず、国全
体で七十頭、しかも、千葉県には一頭し
かないことを知りました。その理由の
一つとして、ユーザーと介助犬一ペアの
育成に二百四十万円のお金がかかりま
すが、育成費のほとんどは、一般の人か
らの会費や寄付金でまかなわれている
からです。このことから、皆さんの人
の協力が必要ということに想像でき
ます。しかし、お金の寄付だけが協
力する方法ではないと思います。講演会
に参加したり、インターネットや本など
を使って調べたりすることで、補助犬に
ついて知ることが出来ます。私も、学習
会に行くまで知らなかったことがたく
さんありました。そして、知ったことを周
囲の人に発信していくことが大切だと
、協会の方にお話をいただきました。
補助犬の認知度が上がると、一人一人
がそれぞれの方法で活動に協力しよ
うという気持ちになると思っています。
私も学んだことを家族や友達に伝え
て、少しでも多くの身体障害者の方
がパートナーの補助犬と共に、希望
を持って生活できるようになってい
たいと思います。

全ての人のくらしやすい社会をつ
くることが、それには、様々な立場
の人が障害者の方々の困難さを理
解し、協力しようと思えることが
最も重要だと思います。決して他人
事だと思わずに、障害と向き合
い寄り添う機会をつくり、自分
にできることを考えてみる。そ
れが、誰にとっても幸せな、「福
祉のまち」をつくり上げる第一歩
となるはずだと私は考えます。

作文の部 最優秀賞

片岡歩乃花

(横芝小学校6年)

三人のおじいちゃん

私には三人の大切なおじいちゃんがあります。一人は父方の祖父、一人は母方の祖父、そして三人目は毎日通学路を一しよに歩いてくれている近所のおじいちゃんです。

そのおじいちゃんには、姉が一年生のころよりもっと前からずっと私たち小学生を温かく見守ってくれています。姉は中学三年生なので、その年月は十年以上になります。

私は一年生のころからそのおじいちゃんが一しよに歩いてくれることが当たり前だと思ってきましたがそれはちがいます。

そのおじいちゃんには、自分のお孫さんが通学してきたころから一しよに歩き始めたそうです。自分の孫はもう大人になってしまったのに、毎日歩き続けてくれているなんてなかなかできることではないと思います。

私は、あと半年で卒業してしましますが、一度もお礼を言ったことがありません。いつか、感謝の気持ちを必ず伝えてから卒業したいと思っています。

そのおじいちゃんも九十才を過ぎたそうです。私たちにはよく分かりませんが、きっと足やこしが痛いのに、無理をしている日もあると思います。それなのに、雨の日も風の日も当然のようにいてくれます。

でも、このごろ心なしか歩く速度が遅くなったような気がします。道をショートカットして帰ることもあるそうです。いつか、歩けなくなる日が来るのかと思うと、さみしいし、

こわいです。私に恩返しができる日が来るのかな、と思います。そんなふうに思っている日も来ないことは分かっています。私自身が勇気を出して一歩ふみ出さなければいけないのです。

「私にできることって、なんだろう。」と考えます。電車やバスで席をゆずること、重い荷物を持つこと、あげること、など積極的に声をかけることばかりが、まず思いつきます。そしてあまり現実的ではありません。いろいろ考えるけれど、内気な私にできるような気がしません。

「私にできること...: そうだ。まず、観察してみよう。」おじいちゃん、どんなことで困っているのか、どんなサポートをしたら喜ばれるのか: 本当に困っている場合に出会ったら、私の祖母にしているように、自然と何かお手伝いできるかもしれない。

それから、「おはようございます。」いつもは小さな声で、多分聞こえていないと思うけど、目を合わせて聞こえるようにあいさつしてみよう、そう思いました。

おじいちゃんには、どんな顔をするでしょうか。二学期になったら、自分のやれることを、勇気を出して実行してみようと思います。私の第一歩をふみ出すしゅん間が楽しみです。

作文の部 優秀賞

片岡杏花里 (横芝中学校3年)

平山 怜奈 (光中学校 1年)

越川 佳音 (日吉小学校6年)

鈴木 颯人 (南条小学校5年)

ポスターの部 最優秀賞



実川 明花音 (横芝中学校1年)



片岡 歩乃花 (横芝小学校6年)



野坂 綺来 (光中学校3年)

ポスターの部 優秀賞

稲田 雅 (横芝中学校1年)

増田 陽斗 (上堺小学校6年)

阿部 倖大 (横芝小学校5年)

塚本 尊 (南条小学校5年)

菅谷 優花 (東陽小学校4年)

高橋 愛 (上堺小学校3年)

最優秀賞、優秀賞の作品を下記日程で展示します。

期間: 12月16日(土)~12月24日(日)

場所: 横芝光町図書館 2階ロビー

期間: 2月24日(土)~3月4日(日)

場所: 横芝光町町民会館 1階ロビー

皆さん、ぜひご覧ください。



地域のふれあい活動(地区社協)

大総地区福祉のつどい



スコップペラーズによる「スコップ三味線」



手作りのちらし寿司弁当で昼食

7月21日、文化会館で、大総地区の70歳以上の方をお招きし大総地区福祉のつどいを開催しました。

食事の後は、日本舞踊やスコップ三味線、大総保育園の園児によるお遊戯が行われました。

大総地区社協

日吉地区生き生きサロン



篠本二・三区の皆さんによる竹太鼓の演奏



南条忠夫さんと役員のデュエットを披露

10月15日、日吉小学校体育館で、日吉地区の60歳以上の方をお招きし日吉地区生き生きサロンを開催しました。

地区有志によるカラオケ、民謡、篠本二・三区の皆さんによる竹太鼓の演奏、プロ歌手の南条忠夫氏による歌謡ショーが行われました。

日吉地区社協

南条地区敬老お楽しみ会



小川台サロン有志による竹太鼓の演奏



芝崎区有志の皆さんによる踊り

10月21日、南条小学校体育館で、南条地区の70歳以上の方及び結婚50周年を迎えられた方をお招きし南条地区敬老お楽しみ会を開催しました。

午前中は、地区有志による歌や踊り、午後からは、生き生きクラブ女性部の皆さんによる舞踊、プロ歌手の南条忠夫氏による歌謡ショーが行われました。

南条地区社協

東陽地区交流会



昭和歌謡ナミキ楽団による歌と演奏



青空ファミリーによる
アンデス音楽の演奏

9月17日、町民会館で、東陽地区の60歳以上の方をお招きし東陽地区交流会を開催しました。当日は、台風の影響で、雨の降るあいにくの天候でしたが、多くの方が参加されました。午前中は、昭和歌謡ナミキ楽団による歌と演奏、青空ファミリーの皆さんによるアンデス音楽の楽器演奏と歌、午後は、プロ歌手の南条忠夫氏による歌謡ショーが行われました。

白浜地区敬老会



参加者も一緒に大漁節を踊りました



地区役員が舞踊を披露

9月9日、白浜小学校体育館で、白浜地区の70歳以上の方をお招きし白浜地区敬老会を開催しました。午前中は地区有志による歌や踊り、午後は、プロ歌手の南条忠夫氏による歌謡ショーが行われました。最後は、参加者の皆さんも一緒になって「大漁節」を踊って大いに盛り上がりました。

白浜地区高齢者しおさいスポーツ大会

10月26日、すがすがしい青空のもと、しおさい公園芝生広場で白浜地区の65歳以上の方と白浜保育園園児(4、5歳児)の皆さんに参加いただき、第4回白浜地区高齢者しおさいスポーツ大会を開催しました。当日は約100名の参加があり、「この動物な〜に」では高齢者と園児が1組になり、選んだカードに書いてある、動物の絵を探す競技を行いました。他にもパン食い競争、50個玉入れ、魚釣り競争、紅白リレーなどで体を動かしていただきました。



白浜保育園児によるパン食い競争



ビーチボールを2人で運ぶ
ほった寄せリレー



動物の絵はみつかったかな?

各地区社協で行われた事業



環境美化活動(上堺地区)



東町ふれあい食事会(横芝地区)



七夕馬づくり(東陽小)

町内には、小学校区ごとに7つの地区社協と横芝地区には7つの分会があります。

地域の環境美化活動、花植え活動、海岸清掃、グラウンドゴルフ大会、災害ボランティアスクール(三角巾の包帯法やAEDを用いた心肺蘇生、毛布を利用した担架搬送法など救急法の学習会)、七夕馬づくり、食事会など、小学校や地域の方々と一緒になり活動しています。地域の皆さん、ぜひ地区社協が行う行事にご参加ください。



グラウンドゴルフ大会(日吉地区)



災害ボランティアスクール(南条小)

介助犬がやってきた!

福祉体験学習会を開催

8月22日、文化会館で小・中学生及び一般の方を対象に福祉体験学習会を開催しました。今年度は、日本介助犬協会に協力をいただき、介助犬の役割、仕事などを広報犬「ヌーン」の実演を交えて紹介していただきました。ヌーンは車イスの利用者の落とした物を拾ったり、冷蔵庫のドアを開けて、飲物を持ってくるなどの実演を行いました。

同じように、小学生にも体験していただき、指示どおりに物を拾う介助犬に皆感心し、大きな歓声が上がっていました。

講習会後に行ったアンケートでは、「補助犬の中に介助犬がいるという事を初めて知った。」「犬が車イスを使っている人の役に立っていることに驚いた。」などの感想をいただきました。

※盲導犬、聴導犬、介助犬は身体障がい者補助犬(補助犬)と呼ばれ、障がいのある方の暮らしや心を支えています。



【受賞おめでとうございます】

(順不同・敬称略)

第67回千葉県社会福祉大会が11月14日、千葉県文化会館大ホールを会場に開催され、次の方々が受賞されました。

千葉県社会福祉協議会会長感謝状
渡辺 愛子(ボランティア)

千葉県社会福祉協議会会長表彰
大場 和可(民生児童委員) 北川 哲男(民生児童委員)
土屋 優子(光町中央保育園)

赤十字救急法フェスタ 2017

救急法コンテスト (三角巾による全身の包帯)

横芝光町赤十字地域奉仕団 優秀賞に輝く

10月5日、千葉県総合スポーツセンター体育館で、『赤十字救急法フェスタ2017』救急法コンテスト(三角巾による全身の包帯)が開催され、横芝光町赤十字地域奉仕団から2チームが出場、練習の成果を発揮し、共に優秀賞に輝きました。



福祉体験学習会開催

7月6日、白浜小学校で福祉体験学習会が開催され、社会福祉協議会職員がアイマスク体験、高齢者疑似体験、車いすの操作を指導し、4年生20名が体験をしました。

アイマスク体験では、目の見えない状況での歩行体験を行い、併せてガイド者の歩行介助の仕方・適切な誘導方法や接し方について学びました。高齢者疑似体験では、疑似体験セットを体に装着し、関節の曲がりにくさや腰の曲がった状態、視野の狭さなど、高齢者の身体機能の低下を体験しました。車イス体験では、車イスに乗る人の気持ちを考えながら1人で乗る体験をした後、2人組になり体育館のスロープや段差を乗り越えるコツなど車イスの扱い方を学習しました。

この学習会を通じて、身体機能の低下した方や障がいのある方の気持ちを理解し、優しい気持ちで人に接してくれたらと思います。



平成29年度 笑って学べる! 誰でもわかる成年後見早わかり講座

お笑い芸人のトークや弁護士による解説を通して、分かりやすく成年後見制度の概要や職務を伝え、制度の利用促進や周知を図ります。

- 日時** 平成30年2月25日(日) 13:00~16:00
- 会場** 千葉県経営者会館6階大ホール
- 定員** 200名(申込先着順)
- 申込** 申込書をFAX又はEメールで送信
- 締切** 平成30年2月15日(木)必着
- 参加費** 無料

〒260-8508 千葉市中央区千葉港4-3 千葉県後見支援センター
TEL:043(204)6012 FAX:043(204)6012
E-mail: smile@chibakenshakyo.com

ご寄付ありがとうございました



社会福祉協議会へご寄付をいただきました。

8/21 匿名
8/31 高田直子様

社会福祉事業へ有効に使わせていただきます。

お知らせ

ボランティア養成研修(入門講座)の開催について

- 日時** 平成30年1月25日(木) 13:30~15:30
場所 横芝光町文化会館 集会室
講師 千葉県ボランティア連絡協議会事務局長
渡邊千代美氏
内容 ボランティアの基礎知識・心構え
町内のボランティア団体の紹介と活動内容
ボランティアの体験談等を予定
締切 平成30年1月19日(金)まで
申込 横芝光町社会福祉協議会 電話 80-3611



ボランティア活動のきっかけづくりに
ぜひご参加ください。

住民たすけあいサービスを利用してみませんか?

高齢者や障がいがある方、小学生までの子供のいる世帯などで
掃除、洗濯、買物等でお困りの方のお手伝いをしています。

住民たすけあいサービスとは

町民の皆さんの参加と協力により、日常で困っていることをサポートする会員制のサービスです。

社会福祉協議会が利用を希望される方(利用会員)のお宅に、サービスを提供する方(協力会員)を派遣し、有償で家事援助等を行います。



利用会員、協力会員を募集中

詳しくは、社会福祉協議会まで。 電話 80-3611

よこしばひかり福祉のつどい開催

- 開催日時** 平成30年3月3日(土)
午後1時30分より
会場 町民会館 大ホール
内容 第1部 式典
福祉功労者、小中学生標語・作文・ポスター表彰
第2部(予定)
光ウィンドオーケストラによる演奏、災害復興支援抽選会
参加申込 横芝光町社会福祉協議会 電話 80-3611
募集 協賛していただける事業所を募集しています。



※つどい開催については、後日、チラシを回覧いたします。

皆様の参加を
お待ちしております。